

Science & Global vol.24

本校では2学期がスタートしました。7月の終わりには、第3学年が地域に出かけ、研究成果の発表や意見交換をとおして学びを深めました。2学期は、1年生は関西研修、2年生の課題研究が本格始動をするなど、出雲高校SSH・SGHにとって大きな行事が続きます。

★出雲大社での英語観光案内ボランティアに参加しました★

7月16日（月）に2年生の有志15名が、島根大学サマースクールに参加している留学生に向けて、出雲大社で観光案内を行いました。

アメリカ、イギリス、ドイツから来ている留学生8名に、出雲大社の歴史、参拝方法とその所作などについて、英語を使って身振り手振りを交えながら説明しました。

生徒たちは英語を使って伝えるということの難しさ、そして伝わった時の喜びを実感することができました。

出雲大社を散策したあとは、「観光センターいずも」で美味しいお食事を頂きながら、交流をしました。留学生との会話の話題は出雲大社のことから日本食、好きな音楽等、多岐にわたり、とても楽しいひとときとなりました。

半日ほどの交流で名残惜しそうではありましたが、別れ際に一緒に写真を撮ったり、連絡方法を交換したりと、今後も様々な形での交流が続いていくものと感じました。



★1年理数科 2018 第1回 島根大学研修を実施★

7月13日（金）、島根大学研究機構産学連携センターを訪れ、最先端科学の体験型フィールド学習を行いました。講義・実習内容は以下のとおりです。

- 「ナノメディシン（先端医学研究）」 中村守彦 教授
- 救急医療・看護医療の実習 中村守彦 教授
- 音声認識、マグネット鉗子、ナースライト、点滴サポーター
- 「骨ネジ加工（再生医療）」 今出真司 助教
- 総合討議 中村守彦 教授

普段の授業とは違うフィールド学習で最先端科学を体験し、地域の医療や産業についての現状を学ぶとともに、研究することについての新たな視点を得ることができました。



★3年生が「地域・社会と関わりながら学びを深める活動」を行いました★

7月26日（木）・27日（金）の2日間にわたって、3年生がこれまでの探究的学習の総まとめを行いました。

【キッズのためのスーパーサイエンス】（理数科・普通科理系クラス対象）

出雲科学館を会場にした「キッズのためのスーパーサイエンス」は、昨年度「課題研究」で取り組んだ、科学的な研究成果を、小・中学生に分かりやすく再構成して発表する活動です。

同日開催された出雲高校オープンスクールに参加した中学3年生や、地域の小学生、親子連れの方々など、多くの方々に3年生課題研究成果を発表することができました。中には寸劇により口腔内環境について説明する班があるなど、例年以上にユニークなプレゼンが数多くありました。

また、昨年度に続いて、京都大学工学研究科物質エネルギー化学専攻の4名の大学院生さんによる、超伝導に関する実験コーナーも設けました。参加した子どもたちは浮遊する超伝導体に目を輝かせていました。



キッズのためのスーパーサイエンスの様子①

27日午後には、「SS mini パワーアップセミナー」と題として、上記でご協力いただいた京都大学大学院生の皆様に、進学のかっかけや、研究の面白さ、学会での出会いや、幅広い教養の大切さなど、今後の進路選択の参考になるお話をしていただきました。

【島根大学におけるグローバルセッション】（普通科文系クラス対象）

この活動は、課題研究の成果を英語資料にまとめ、島根大学のネイティブの英語教員や留学生に向けて英語発表を行い、学びをより深めるというものです。

発表に先立ち、7月23日には島根大学教育学部の香川奈緒美准教授から、対話型コミュニケーションやプレゼンテーションの方法についてご指導いただきました。

26日には、独立行政法人国際協力機構（JICA）の岩田和美さん、島根県津和野町教育魅力化コーディネーター（青年海外協力隊OB）の中村純二さんをお招きし、「SDGsを通して、世界と島根を考える」と題したワークショップを行っていただきました。

27日は、島根大学にて、英語発表の本番となりました。各グループ8分の発表の後、聴衆の皆様からたくさんの質問をいただき、英語でディスカッションを行いました。どのグループも、これまで多くの皆様からご指導をいただきながら準備を重ねてきた成果が表れ、成長の跡が見られるプレゼンとなりました。

午後からは島根大学国際交流センターの青晴海先生から「島根大学でできる海外留学」と題して講義をしていただきました。先生のお話を通じて、自らも海外で活躍しようという意欲がさらに増してきたようです。



キッズのためのスーパーサイエンスの様子②



JICA 岩田さんと中村さんのワークショップの様子



グローバルセッションの様子



市役所で政策提言をする様子



副市長さんへの発表

【地域創生に向けた高校生からの提案】（普通科文系クラス対象）

この活動は、2年次の課題研究で行ってきた探究活動の成果を発展させ、3年次で「地域創生に向けた提言」としてまとめ、出雲市副市長・職員向けに発表し、研究成果を地域・社会に還元するものです。

26日は出雲市役所を訪問し、「環境」「観光・交通」「健康・食農」「地方活性化・国際交流」「環境・外国人定住」の 카테고リーに分かれて発表を行い、出雲市職員の方から意見交換と関連政策の説明をしていただきました。

27日は地域創生に向けた政策提案の最終まとめを行い、本校久徴会館にて出雲市の伊藤功副市長に発表しました。各分野の発表後、伊藤副市長から講評をいただきました。

講評では、どのグループの発表も近年のタイムリーな地域的諸課題を的確にとらえたものになっていること、テーマの切り口が高校生らしくユニークなものがあったことなどが評価された一方、さらに深い探究や現実的な政策提言とすることが課題であるという助言をいただき、生徒が提案した内容に新たな示唆を与えてくださいました。

★「サイエンスセミナー IN 奥出雲」に参加しました★

8月5日（日）、6日（月）、奥出雲多根自然博物館で開催された東京大学医学部と島根大学医学部による合同の研究発表セミナーが開催され、本校からは「サイエンスリーダー養成事業」として7名が参加しました。

このセミナーは大学が互いの研究成果を情報交換して、多角的に議論しコラボレーションなどのさらなる発展の形を模索するもので、学術研究の深化を感じ、将来科学技術系の分野で活躍しようとする意欲をさらに高め、最先端の医療研究の現状について深く考える貴重な経験となりました。



今後の予定

9月3日（月） 【全年】色別対抗ディベート大会（於：出雲高校体育館）
（久徴祭1日目） ・本校の1年生SS・SGの時間に取り組んできた成果を久徴祭で発揮

10月 2日（火） 【第1学年】関西SS・SG研修
～ 4日（木） ・京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学など各研究室をコース別に訪問
・在関西の企業、研究施設等をコース別に訪問